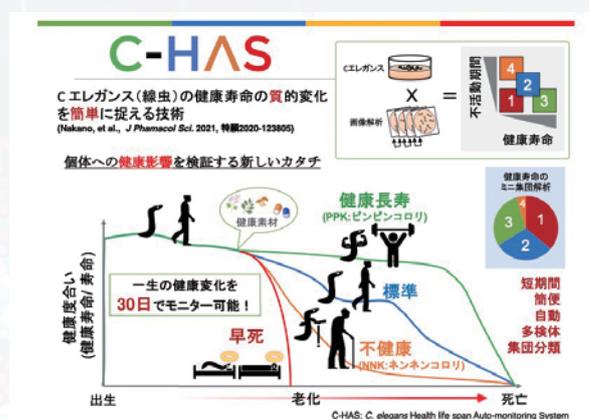


## 首藤剛

### Cエレガンスを利用した新規評価手法で挑む健康素材の開発

現在、世の中は空前の健康志向ブームであり、健康をテーマにした食品・化粧品・製薬会社は増加の一途をたどる。従来、このような健康関連企業の製品開発では、ヒト試験の前に、愛玩動物(マウス、サルなど)を用いた実験が必須とされてきたが、現在、動物愛護やSDGsの観点から、その代替技術が求められている。また、そもそも、健康社会の一助となる食財やサプリメントなどは、その機能性がわかっているにもかかわらず、当該素材が持つ健康寿命の延伸能力を評価することはできなかった。

私たちは、ヒトの健康を反映する実験動物、Cエレガンス(線虫)を活用した健康寿命の見える化の新技術C-HASを開発した。C-HASは、特許・ノウハウに強みを持ち、その活用で、企業等が有する素材や、新規素材の健康延伸力評価が可能となる。結果、C-HASは、脱動物実験や健康付加価値の向上を期待する健康関連企業のニーズに応える、極めてユニークな健康新事業となる。



氏名 首藤剛  
Tsuyoshi Shuto

所属 熊本大学  
役職 准教授

大分県出身。熊本大学大学院修士課程時代に海外留学を経験し、国際視野を涵養。現在、熊本大学薬学部の天然物もの・こと作り事業 UpRod のプロジェクトマネージャーを兼任し、基礎研究と社会実装化の両利き経営を実践中。最近、Cエレガンスを利用した素材の新規評価技術 C-HAS を開発し、事業化に向けて邁進中。

# Healthcare